

館林新発見レポート

テーマ 「里沼めぐり」

1. 茂林寺沼
2. 多々良沼
3. 城沼
4. つつじが岡公園

山田彩 小嶋乙葉 車崎雅斗 青山俊輔



茂林寺



1. 茂林寺沼（祈りの沼）



私達は三中から出てまず先に茂林寺沼へと向かいました。沼にはカモが多くいて、他の生物はあまり見られませんでした。その後茂林寺沼及び低地湿原に行き、このような獣道や山地などで見られるクマガサなどが見られました。そして、茂林寺沼の低地湿原には、「ホタルの里」があります。季節的にホタルは見れませんでした。夏になると時折見れるそうなので是非、見に行ってみてください！

2. 茂林寺



低地湿原を見回ったあと、茂林寺を見に行きました。写真のように両側にはぶんぶくちゃがまで有名な洋服を着たためきの像が多数置いてあります。入り口の目の前には鳥居があり、鳥居の天井には昔の武将や茂林寺に訪れたおえらいさんの名前が書いてある御札が貼ってありました。茂林寺に入るとたくさんのためきがお出迎えしてくれるので是非、見に行ってみてください！

茂林寺の見どころは、たぬきの洋服や表情が一つ一つ違うところと少し前まではマスクをつけていたところが見どころだと思います。

茂林寺沼の見どころは、低地湿原に山地などでしか見れないクマザサや「ホタルの里」が見れたことが見どころだと思い、改めて館林は良いところだなと感じました。



多々良沼





次に多々良沼では沼と浮島弁財天を見てきました。沼では色々な野鳥がみられました。白鷺やコウノトリがみられました。沼では、白鳥をとるためにカメラを持った人たちがいっぱいいました。自分達は見れなかったが、多々良沼ではたくさんの魚がいます。代表的な魚では、ナマズやコイ、ウナギなどがいます。多々良沼は、とても広かったです。多々良沼の木々はヤナギが有名で、僕達も見られました。浮島弁財天では、神社と橋を通りました。そこで、お賽銭をしました。きっと僕にはいいことがたくさん起こると思います。特に印象に残ったことは、沼でみた野鳥です。コウノトリと白鳥を見られたのはとても嬉しかったです。次来的时候は、魚を見たいと思いました。



城沼



3, 城沼

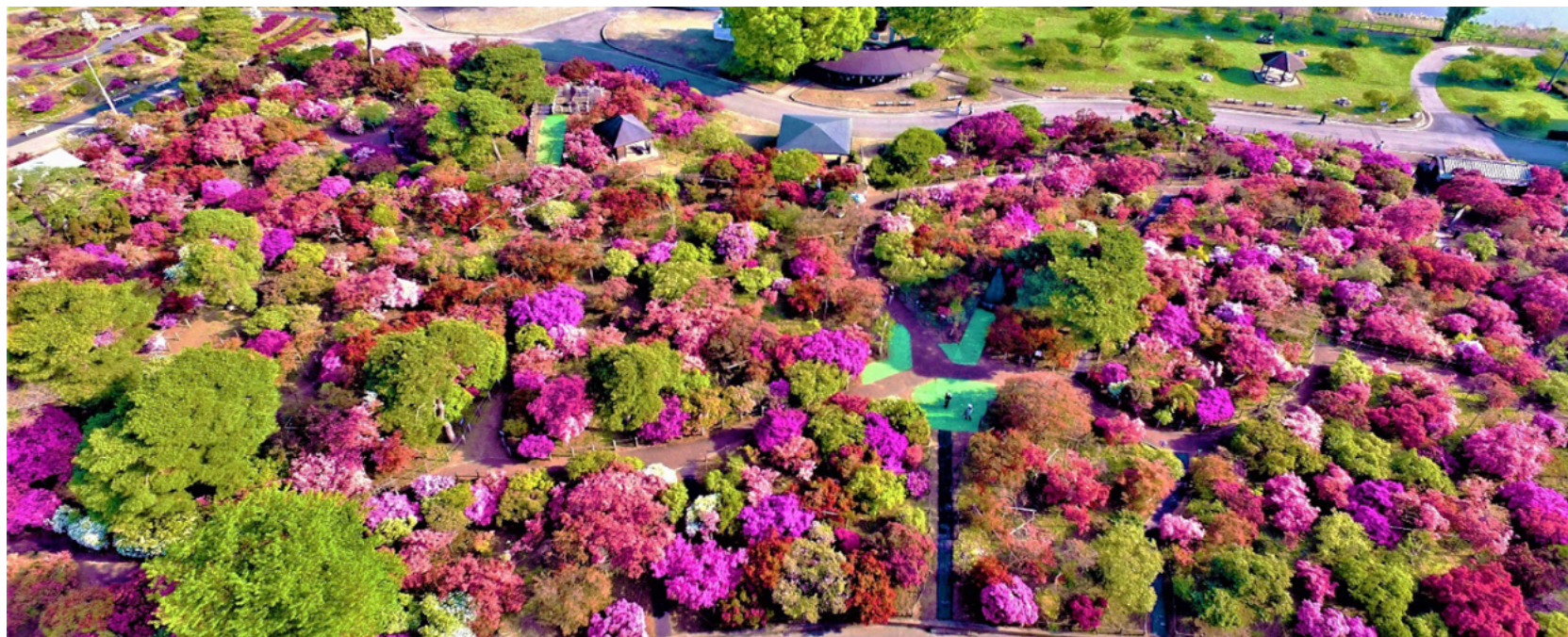
私達はお昼ごはんを食べた後、城沼に向かいました。城沼は明治維新まで禁漁され、守られてきたことから、『守りの沼』と呼ばれています。城沼には、右の写真のような、自然がたくさん見られます。とてもきれいな景色なので、絵に書いても、写真をとっても綺麗だと思います。また、今回は見る事ができなかったのですが、季節によっては白鳥なども見ることができます。そして、城沼は、周辺に神社や仏閣、科学館や、歴史資料館があるので、『歩いて回るのがとても楽しい場所』という発見がありました。





つつじが岡公園

満開だとこんな感じ ✨



つつじが岡公園は初夏の場合、満開でとてもきれいなつつじの花を見ることができます。僕たちで行ったときは12月の初めだったので、つつじの花を見ることができませんでした😞しかし、紅葉の季節だったので色づいたつつじの葉を見ることができました✨

↓5月のつつじ



↓12月のつつじ



つつじ伝説について

伝説によると、1605年（慶長10年）、榊原康政の寵愛を一身に集めた側室の「お辻」が正室の妬みに耐えきれず、城沼に身を投げてしまいました。康政はお辻を偲んで「つつじが崎」にヤマツツジを植えたとされています。城沼北岸の善長寺には、お辻と、共に身を投げた侍女のお松の供養塔が建てられています。

お辻とお松の供養塔



全体の感想

まず最初に茂林寺沼と茂林寺を見て、茂林寺沼では鴨が多く見られ獣道を初めて見ました。茂林寺では入り口の両側にぶんぶく茶釜で有名な洋服を着たためきの像がおいてあり、とても可愛かったです。多々良沼では、初めて見た野鳥がいっぱいいました。白鳥がとてもきれいでした。城沼では、鯉がいっぱいいました。周りには自然がたくさんありました。つつじが岡公園ではツツジの花は見れなかったが、紅葉の季節で色付いた紅葉が見れました。最後に事故なく楽しかったので良かったです。